

# IT企業がアグリビジネス

ウェブサイト制作などIT(情報技術)経営支援を手掛けるシーエムエー(CMA、浜松市中央区板屋町、島上勝則社長)は十八日、野菜の栽培指導や手入れ代行などのサービスが付いた体験農園を開設する。消費者の間で食の安全・安心や健康志向への意識が高まっていることから、ビジネスチャンスにつなげる。

## CMAが体験農園

農園として活用するのは、浜松市西区大平台一の農地約一千平方メートル。所有農家の運営を補助する形で引き受け、一区画十五平方メートルで計四十八区画を貸し出す。子どもがいる家族や就農希望者、飲食業者などの顧客を想定しており、利用者を募集する。

農園の特徴は、専門スタッフが土づくりや種まき、収穫まで指導するに加え、利用者がインターネットを通じて日々の畑の状態をチェックできる点だ。ネットでは写真に収められた畑の様子が、会員限定サイトにアップされる。また、サイトにはスタッフから

## ネットで利用者畑チェック

「水やりが足りないようです」「雑草が生えてますよ」などの情報も寄せられる。利用者が「多忙で農園に向かない」と連絡すれば、スタッフが代行で世話をする。利用には入会金一万五百円と月額六千八百二十五円の利用料が必要。十八日午後一時から現地見学会を開く。担当スタッフの久次米啓子さん(三十九)は「土づくりから指導します。一緒に楽しく野菜をつくりましょう」と話している。CMAは県内に同様の農園を拡大する方針で、耕作放棄地などの情報提供も呼び掛けている。問い合わせはCMA内「マイファーム静岡」へ。電話053(451)2325へ。



CMAが開設する体験農園とスタッフの久次米さん＝浜松市西区大平台で